

第 64 回七大戦ルールおよび注意事項

協賛依頼先：(株)ダンロップスポーツ・マーケティング

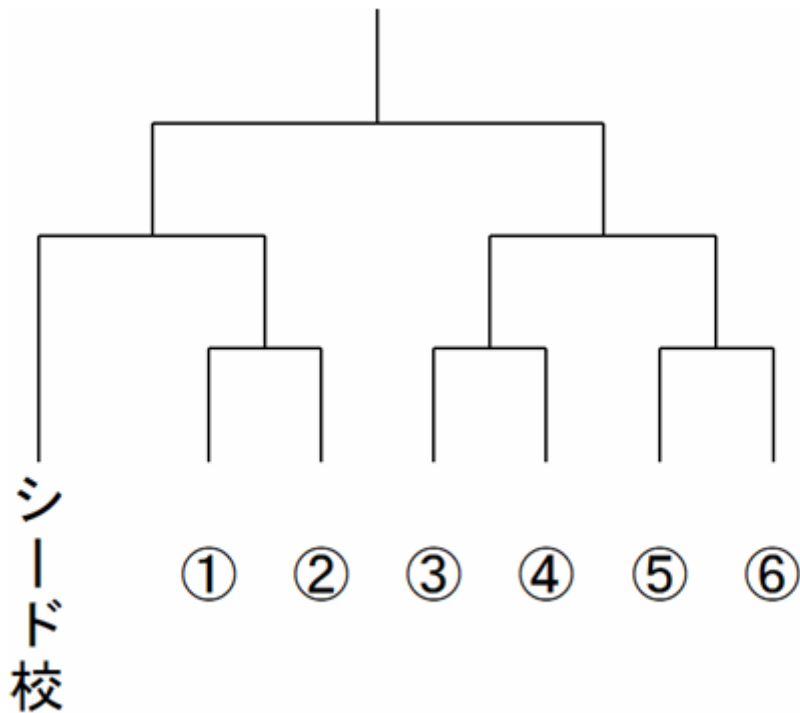
試合中のルールに関しては基本的に JTA テニスルールブック 2025 に準ずるものとする。
以下、補足的に注意事項を記し、JTA テニスルールブック 2025 と異なった場合はこれを優先させる。

1. 出場資格

北海道大学、東北大学、東京大学、名古屋大学、京都大学、大阪大学、九州大学（以下、旧帝国大学とする）において、登録年度数及び在籍年度数は 4 年以内とする。旧帝国大学を卒業したもので、旧帝国大学のいずれかに再入学した場合は、入学しなおした大学での在籍年度数に改められる。

2. 組み合わせ

以下のトーナメントに基づき対戦校を決定する。ただし、前回大会優勝校である男子名古屋大学、女子北海道大学については、1 回戦をシード扱いとする。下記の 1~6 の組み合わせについては、6月13日に行われるレセプションの際に正式に決定する。



3. 試合の日程

- 6 月 13 日(金) 前日練習
- 6 月 14 日(土) 1 回戦
- 6 月 15 日(日) 準決勝、5-7 位決定戦
- 6 月 16 日(月) 決勝、3 位決定戦、5-7 位決定戦
- 6 月 17 日(火) 予備日

4. 順位決定

トーナメントで順位を決定する。ただし、5-7 位決定戦は当該 3 校によるリーグ戦で順位を決定する。リーグ 戦において、3 校の勝敗が並んでいる場合、リーグ戦の全試合の成績を対象とし以下の順で順位を決定する。

- 1 勝ポイント数が多い大学を上位
- 2 取得ゲーム数が多い大学を上位
- 3 失ゲーム数が少ない大学を上位

5. 試合形式

男子：3 セット 12 ポイントタイブレーク方式 複 3 本・単 6 本
女子：3 セット 12 ポイントタイブレーク方式 複 2 本・単 3 本
ただし、5-7 位決定戦のみ 8 ゲーム 12 ポイントタイブレーク方式とする。

6. 試合の順序

原則として以下の通りである。ただしレストの時間の都合上順番が前後することもある。基本的には男子は 3 面進行、女子は 2 面進行で行うが、進行の都合上それ以上またはそれ以下になる場合もある。また、初戦 以外で勝敗が決定しているときは試合を打ち切るものとする。

男子：複第 3 位から順次第 1 位まで、単第 6 位から順次第 1 位まで
女子：複第 2 位から順次第 1 位まで、単第 3 位から順次第 1 位まで

7. 使用球

ダンロップフォートテニスボールとする。ボールチェンジについては、男女ともに 9-11 とし、試合中のパンク・ロストについては両校の判断でこれを処置すること。

8. 服装

男子はシャツにパンツ、女子はワンピース又はシャツにスカートあるいはショーツとす

る。通常の公式戦同様、大きな文字が入ったウェア等の着用は認めない。なお、オーダー交換時はウォームアップウェアの着用を認める。プラクティス中の服装は自由とする。

9. オーダー交換

- (1) オーダー交換時に出場選手がいない場合、その試合は棄権とみなされる。オーダー交換時に選手は『8. 服装』に従ったウェアを着用の上整列しなければならない。単複ともにオーダー交換後のオーダーの変更、訂正は一切認めない。
- (2) オーダー用紙は本大会指定の用紙を使用し、式次第時に相手校提出用と本部提出用の2枚を用意する。両校主将挨拶時に、相手校用を相手校主将に、本部提出用を式次第担当者に提出する。式次第担当者もしくはその代理の者は式次第終了後、速やかに両校の本部提出用オーダー用紙を運営本部に提出すること。なお、オーダー交換時にオーダー用紙が2枚無い場合、単複ともにその種目の全ての試合が没収試合となる。
- (3) 記入ミスについては特に罰則を設けない。
(例)部印がない、氏名、大学名の漢字が間違っているなど
- (4) トーナメント左側の大学が司会進行を行う。
- (5) 単複のオーダー交換は同時に行うものとする。また、整列時はゲームウェアを着用しておく。特にペナルティは課さないが、着用していない場合は即座に着替えさせる。
- (6) 出場する選手及び補欠選手はオーダー交換時にサーブスライン上に整列することを義務とする。
- (7) 選手が必要本数に満たない場合は第1位より順に入れるものとする。

10. 補欠選手

単複の両方において登録されている選手が、複の試合中、または試合後に単の試合が続行不能と運営本部が判断した場合は補欠選手を出場させることができる。補欠選手は単複のオーダー交換を同時に行うことを考慮し、偶発的事故による怪我を原因とした単の棄権を防ぐ制度であり、各校1名のみ登録が可能である。明らかに恣意的に補欠選手の出場を求めた大学にはペナルティを課す場合がある。なお、試合ができなくなった選手の順位に補欠選手が入るが、その他の選手の変更は認められない。その際、補欠選手のレストは認められない。

11. ベンチコーチ

1コート1名でエンドチェンジの90秒間、セットブレイクの120秒間にベンチコーチから選手はコーチングを受けることができる。それ以外の時間に立ち上がったたり、選手に触れたり、話しかけたりしてはいけない。ただし、コーチングの要素を含まない応援であればポイント間に認められる。また、ファーストゲーム終了時とタイブレーク時のコートチェンジ間はコーチングをすることが出来ない。ポイント間は立ち上がってはい

けない。また、審判の判定に対し異議を唱えてはならない。服装については問わないが、必ずテニスシューズを着用するものとする。

- (1) 資格 当該大学の選手・監督・コーチ・トレーナー・マネージャー・OB・OG
- (2) 入退場 必ず 90 秒のエンドチェンジ間または 120 秒のセットブレイク間に審判に申告し入退場すること。交代の回数 は自由とする。
- (3) トイレットブレイク ベンチコーチ自ら申し出ることはできず、選手と同じ時にのみトイレットブレイクをとることができる。しかし、トイレットブレイク中に第 3 者と話した場合はベンチコーチに戻ることはできない。また、その後の ベンチコーチの補充もできない。
- (4) 違反行為について ベンチコーチに上記の規定に反した行為が確認された場合、以降、当該試合において違反校側はベンチコー チをつけることはできない。違反行為の判断は運営本部が行う。

1 2. ボールパーソン

ボールパーソンをつけるかどうか、あるいはどのようにつけるかは両校代表者の話し合いで決めるものとする。ボールパーソンは 1 コート 2 名(各大学 1 名まで)、一切の応援をしてはならない。選手、応援、ベンチコーチと会話してはならない、又触れてはならない。

1 3. 審判

- ・ SCU とし、トーナメント左側の大学が奇数試合、右側の大学が偶数試合を担当する。
- ・ 試合終了または中断の際にスコアと終了または中断時刻を運営本部に報告すること。
- ・ 選手が明らかなミスジャッジをしたと判断される場合のみオーバーコールを認める。
- ・ 雨による中断は審判の判断または両選手の同意による。
- ・ ポイントペナルティ制度の適用は審判の判断で行う。

1 4. ウォーミングアップ及びコートチェンジ

- (1) 試合開始前のコートでのウォーミングアップは 5 分以内とする。
- (2) ポイント間は 25 秒以内、ゲーム間コートチェンジは 90 秒以内、セット間は 120 秒以内とする。
- (3) 雨天などで中断した試合を同日中に再開する場合の練習について 15 分以下の中断なし 15~30 分の中断 3 分以内 30 分以上の中断 5 分以内
- (4) サスペンデッドになった試合を日を改めて再開する場合は、再開前 5 分以内のウォーミングアップを認める。
- (5) 運営本部または審判に試合の進行を促されても試合に入らない場合は、随時ポイン

トペナルティ制度を適用する。

15. 棄権・リタイア

筋痙攣を含む自然的体力消耗による試合中断は随時ポイントペナルティ制度を適用する。
尚、偶発的事故による怪我のために試合続行できなくなった場合は、1回の事故につき
1回だけ3分以内の治療を認める。

※治療はコートで行うものとし、コート内には出場資格を有する者以外の入場を認める。

(例)医師、トレーナー等

※治療時間(メディカルタイムアウト)をとりたいときはベンチコーチが主審にその旨を
告げ、主審または当該選手の在籍する大学から運営本部に連絡するものとする。

※運営本部では特に医師、トレーナー等の準備の予定はない。

16. ポイントペナルティ制度

この制度は、スポーツマンシップの高揚と試合秩序の維持を図り、コートマナー及び競技諸注意規則を厳守させることにある。ダブルスのペアの1人が犯した違反はペアに対して科される。

・試合でのコードバイオレーション

① 時間厳守

試合開始時刻からの遅刻時間が15分以上となれば即座に失格とする。

② 服装と用具のコード

③ コートを離れる

④ ベストを尽くさない

⑤ 試合を途中放棄する

⑥ トーナメント公式行事への出席義務

⑦ タイムバイオレーション

ポイント間25秒ルール、エンドチェンジ間90秒ルール、セットチェンジ間120秒ルールに違反した場合1回目は警告、2回目以降はサーバーならフォールト、レシーバーはポイントペナルティが課される。

⑧ ゲームの遅延

⑨ 施設又は設備の損傷

⑩ ボールの乱用

⑪ ラケットや用具の乱用

⑫ 言葉による侮辱

⑬ 身体に対する危害

⑭ ひわいな言葉

⑮ ひわいなしぐさ

⑯ コーチングおよびコーチ

⑰ スポーツマンシップに反する行為

⑱ ポイントペナルティ制度

試合コート上でコードに違反したプレーヤーはポイントペナルティ制度に従って以下のペナルティが課される。

1回目 警告

2回目 1ポイントを失う

3回目 その都度1ゲームを失う

17. 応援

応援とは試合を盛り上げ、自校のチームを勝利に導くためのものであって相手校をやじるためのものではない。よって、相手校を侮辱する応援、ジェスチャー、器具(道具)を用いて相手校、相手選手、審判などの心理を攪乱させるような行動及びプレーの妨げとなる行為をしてはならない。学生スポーツ指針に反し、良識を欠くとみなされる場合には審判が客観的に判断し処分する。尚、その行為が故意でないとしても同様である。

1回目 警告

2回目 声なし

3回目 退場

18. プレーヤー

学生スポーツマンシップに反し、コートマナー及び競技規則を厳守せず学生精神の向上並びに学生テニス界の発展、統一に支障をきたす選手は当該ポイント失格のうえ運営本部において処分する。

19. 没収試合

- (1) 学生スポーツ精神に反すると運営本部が認めた場合その当該試合。
- (2) オーダー交換時に、出場選手が整列していない場合のその当該試合。
- (3) 試合開始の際、出場選手が15分以上試合に入らない場合のその当該試合。
- (4) オーダー交換時、2枚の提出用オーダー用紙がない場合。
- (5) その他、運営本部が適当と判断した場合。

20. 質疑・抗議

・選手

審判にそのプレーに対する判定に質疑を行うことおよび運営本部を呼ぶように審判に要求することができる。

・ベンチコーチ

質疑・抗議ともに一切認めない。

- ・ 審判

選手が運営本部を要請した場合、ゲームの進行上支障がなければ、コートチェンジの際に運営本部と選手の質疑の対応ができるようにすること。更に、怪我やコード・オブ・コンタクト、アクシデントが起こった場合は、運営本部をコートに呼んでおくこと。

- ・ 質疑権所有者

主将、主務のみとする。大学を代表してオーダーに対する質疑、試合進行に関する質疑を運営本部と対応するものであって、プレー、判定、相手校の応援に対し質疑するものではない。

2 1. トイレットブレイク

トイレ又は着替えのいずれかの理由でトイレに入った瞬間から3分以内でとることが出来る。セットブレイク時が望ましい。但し、状態が深刻であると判断した時は例外がある。コートに戻り次第速やかに試合を再開する。ウォームアップ中も試合中と同様回数に数える。選手がコートに戻った後残り時間を使ってウォームアップを再開する。相手選手は待っている間、第3者とウォームアップすることはできない。相手校の部員がついていくものとする。緊急トイレットブレイクは、緊急を要すると審判が判断した場合、該当者のサービスゲームの前にのみ可とする。ただし、使用後は通常のトイレットブレイクの権利を1回分失う。

- ・ 男子：1試合に単1回、複1組1回
- ・ 女子：1試合に単1回、複1組2回

2 2. 結果の問い合わせについて

運営本部前にて当日の対戦結果を貼り出し、随時更新していく。

2 3. スケジュール(試合開始・終了時刻、プラクティス、主将会議などについて)

○試合開始時刻

開会式を行う6月14日は10時5分、それ以外は9時45分より単複のオーダー交換を行い、オーダー交換後は速やかに試合を開始する。

○試合終了時刻

試合の終了時刻はラストゲーム16時45分とする。17時までにコートからの完全撤収とするため、各校、挨拶終了後は、部旗等の各校備品の片付けを迅速に行う。

○プラクティス

- ・ 前日練習の6月13日は以下の予定表の通り行う。

	コート番号(仮)					
	1	2	3	4	5	6
10:00~11:30	北大男子		東北大男子		東北大女子	
11:30~13:00	東大男子		東大女子		名大女子	
13:00~14:30	阪大男子		阪大女子		京大男子	
14:30~16:00	九大男子		九大女子		京大女子	

・前大会優勝校は 6 月 14 日にそれぞれ 2 面を用いてプラクティスを行う。名古屋大学男子は 10:00~13:00、北海道大学女子は 13:00~16:00 でコートを使用できる。

・試合日のプラクティスは各校 20 分とし、原則として当日試合のある大学に対抗ごとに男子3面、女子2面をトーナメント表で左側にある大学から行う。

・コートへの入退場は 20 分の練習時間の中に含める。

○主将主務会議

・主将主務会議は 8 時 40 分から運営本部にて行う。

・各大学の質疑権所有者（主将・主務）のうち最低 1 名の出席を義務付ける。ただし、両者ともに出席できない場合に限り代理出席を容認する。その場合連絡は必要ない。

・内容は以下のものを想定している。

 ルールの確認、前日までの問題の共有、質疑応答、当日試合のない大学の練習コートの打ち合わせ、雨天の場合の進行に関する打ち合わせ、当日の使用ボールの受け渡し 等

2 4. その他

・オーダーの規定は設けない

・複の全試合終了後、両校代表者の話し合いのもと、担当者は責任を持って運営本部に単のコート割りと試合開始時刻を伝えに来ること

・相手がつった場合などに、ポイント・チェンジエンド間の時間を守らず、かつ審判がそれを注意しないことで試合進行に支障をきたしているときは、運営本部へ連絡すること。

・ボールロストまたはボールの不備が認められた場合、ニューボールになってから 2 ゲーム以内ならニューボール、それ以降はユーズドボールを補充すること。

・会場内でのボールを使ったウォームアップは禁止する。

・その日の全日程が終了している大学は試合が終了したコートにおいて、その区画で試合が行われておらず試合が入る予定もない場合は、その日に行われる予定の試合が全て終了するまでは運営本部に確認した上で自由に使ってよい。

・貴重品等の紛失・盗難などについて運営本部は一切の責任を負わない。

- ・ごみの処理について運営本部から補助をすることはない。
- ・その他、試合中に問題が発生した場合は運営本部へ連絡すること。